

2013年6月13日

自然史学会連合
代表 北里 洋



独立行政法人都市再生機構 理事長 上西郁夫 殿
千葉県知事 森田健作 殿
印西市長 板倉正直 殿
千葉県企業庁長 吉田雅一 殿

印西市「千葉ニュータウン21住区開発用地(通称、そうふけっばら)」の
生物多様性保全を求める意見書についての賛同書

私ども自然史学会連合は、野外における基礎的な自然史科学の研究・教育の振興を図ることを目的として、関連する学協会によって1995年に設立された組織です。2013年5月現在の時点で、39の学協会*が加盟しています。近年の活動としましては、連合主催の普及講演会の開催、博物館の設置及び運営上の望ましい基準に関するパブリックコメントへの意見提出などを行ってきました。

この度、加盟学会である日本植物分類学会から各位宛に『印西市「千葉ニュータウン21住区開発用地(通称、そうふけっばら)」の生物多様性保全を求める意見書』が提出されたことと存じます。近年、生物多様性の保全と生態サービスの持続的利用については社会的必要性が急激に高まっております。特に、地域の自然環境を保全することは、この趣旨に叶うものであり、また地域の発展要素としてもその潜在的経済価値が見直されつつあります。この観点から、自然史学会連合といたしましてもこの意見書の趣旨に大いに賛同するものです。また、他の加盟学協会においても同様の動きがあることも申し添えます。

各位におかれましては、私ども自然史科学者の総意をお汲みいただき、何卒適切なるご判断を下されますよう、お願いを申し上げます。

附：

自然史学会連合加盟39学協会（学協会会員数約4万名）

種生物学会、植生学会、植物地理・分類学会、地衣類研究会、地学団体研究会、東京地学協会、日本遺伝学会、日本衛生動物学会、日本貝類学会、日本花粉学会、日本魚類学会、日本菌学会、日本蜘蛛学会、日本古生物学会、日本昆虫学会、日本昆虫分類学会、日本植生史学会、日本植物学会、日本植物分類学会、日本進化学会、日本人類学会、日本生態学会、日本生物地理学会、日本蘚苔類学会、日本藻類学会、日本第四紀学会、日本地衣学会、日本地質学会、日本鳥学会、日本地理学会、日本動物学会、日本動物行動学会、日本動物分類学会、日本プランクトン学会、日本ベントス学会、日本哺乳類学会、日本陸水学会、日本鱗翅学会、日本霊長類学会（あいうえお順）

自然史学会連合事務局

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館人類研究部 海部 陽介

TEL：029-853-8901（代表）

FAX：029-853-8998（代表）

e-mail：kaifu@kahaku.go.jp

自然史学会連合ホームページ

<http://ujsnh.org/index.html>